

事業所名 果実の木 成田

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 2025年 3月 21日

法人（事業所）理念		ユニークパフォーマンス（個の成長）							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団療育プログラムを中心に、その日の子どもの様子を連絡帳で見える化（感覚統合・SST・知育・運動・ごっこ遊び等多岐にわたります。） ・ 他者とのかわりに重点を置き、コミュニケーション能力やルールを理解する力を養っていきます。 ・ 様々な活動を通して情操を豊かにします。 ・ ただ接するのではなく、子ども一人一人の課題を意識しながら関わっていきます。 							
営業時間		9時	30分	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の把握 検温等健康状態のチェックと必要な対応を行なう。また手洗い、消毒を行い、体調不良への予防をしつつ、利用者一人一人の異変に気づけるように観察を行う。 ○基本的な生活スキルの獲得 身辺自立を目的とし、身の回りのことを自身で出来るように必要な手先の動作や衣服の着脱など、基本的技能を獲得できるよう支援する。 ○視覚化により見通しをもって生活環境を整える 教室で過ごすための流れを視覚的に理解出来るようにし、見通しをもって動けるように環境を整える。また、障害の特性に配慮し、活動の内容を本人に分かりやすくする。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢と体のバランスの基本的技能の向上 個別療育を通して日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や体の動かし方の習得支援し、体のバランスの維持・強化を図る。 ○姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 姿勢の保持や手先の運動・動作が困難な場合、平均台や椅子を活用するなど利用者自身が意識できるよう支援する。 ○基本的な安全な体の動かし方の獲得 体のバランスを意識しながら、自分の体の動き方を意識出来るようにする。それにより転倒などのケガなどを回避できる体の必要な能力の向上を図る。 ○遊びによる感覚の活用 おもちゃやマットなど自分で使いたいものを自分で使いながら感性、感覚を利用者自身で十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○感覚や認知の活用 感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す支援を行う。 ○色や形の概念の認知 パズルや洗濯ばさみなどの教材を使い、利用者が自ら理解しやすい支援を行う。 ○認知の偏りへの対応 認知の特性を踏まえ、利用者の認知の偏り等の個々の特性に配慮し、こだわりに対する支援を行う。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に合わせたコミュニケーション 児童の興味や発達段階に合わせて、職員が意図を理解し応答しながら、遊びややりとりを通じて人への関心を広げ。表情やジェスチャー、視線などを使ったコミュニケーションを支援し、実際にものを見たり触れたりしながらことばの理解を深める。 ○コミュニケーションに必要な道具の活用 文字、絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選び、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 ○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 活動を通して他児と関わる楽しさを知り、適切な言葉遣いや相手に伝わる話し方を習得していく。 ○日常生活や活動で「貸して」「いっしょに遊ぼう」などのやりとりを練習する場を設け、職員が見本を示しながら支援する。 							

	人間関係 社会性	<p>○個別療育を通じた人間関係の形成 視覚的な手掛かりを使って丁寧に説明し、児童が安心して個別療育に参加できるよう支援する。一つ一つの成功を褒め、視線を合わせて聞く姿勢をもつ。 また個別療育を行う上で、職員の提案した活動に取り組み、一つ一つの活動に興味を持てるように促していく。</p> <p>○場面の切り替えの意識 タイマーを使用して始まりの時間、終わりの時間等の時間の意識を持つ。集団療育や個別療育などの一斉指示を通じて先を見据えた行動を行い、相手の気持ちを尊重した言動を取ると共にその場面に応じた行動が出来るよう促す。</p>		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育や集団療育にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、写真付きでサービス提供記録にてお伝えします。 ・6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有していきます。 ・保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて幼稚園、保育園等に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。 ・事業所での様子を他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等で伝え、日々の様子の情報交換を行います。 ・保育園等への送迎時、先生と園での様子や事業所での過ごし方の情報共有を行います。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。 ・各関係機関の情報を基に、具体的な場面での関わり方や、困りごとに関しての提案やポイントを共有します。 	職員の質の向上	<p>下記研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ研修 ・専門職員によるスキルアップ研修 ・虐待防止研修 ・身体拘束適正化研修 ・感染症対策研修 <p>その他 児発管ミーティングにて他教室との情報・意見交換実施</p>	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事 ・教室内での創作活動 			